

六日
日刊
磐城時報
印刷所 磐城時報印刷所
印刷部 加納活版所
電話 磐城五七五番
發行所 磐城時報社
一部金五圓 一月金五十圓
廣告料 行内半額 金五十圓
▲日刊 (日曜、祭日休刊)

玉川村に鐵槌

前村長當時の縣費補助金
九百五十圓の還附命令
成行注目さる

玉川前村長駒木根忠三氏失脚の當局は極度に狼狽目下善後策に因を爲した匡救事業の不正は當奔走協議中であるが、既に當時詳報した如く縣費補助金約九の責任者たる駒木根前村長が有百五十圓を幽霊人夫(架空の人)の判決を受けて居り不正事實(夫役報告)等により横領したか證明されて居る以上此の還附命令であるが、縣當局に於いて命令に應じない譯にはゆかず、は補助金中前記横領された九さりとて郡内第一の財政難を嘆息五十圓が匡救事業費として費つ同村としては此の還附金財源消されなかつた以上同村への補給方法絶無であり村民中には助金還附を命ずるが至當なりと前村長駒木根氏に負擔せしめよし昨日同村野崎村長に對し縣と呼ぶものもあり、西九助役の費補助金中九百五十圓の還附命令不正事件に引續いて此の横領命令を發するに至つた。還附命令接手に同村は可成の混亂此の還附命令を受けた玉川村に陥つてゐる。

江名海岸に墜落の

島田飛行大尉長逝

今日九品寺で告別式
大西少將以下参列

去五月二十四日江名町海岸上空に於て數日來の酷暑襲來に四日夜から海軍攻撃機墜落の際重傷を來病狀急變昨五日午前十時危篤を負つた横須賀航空隊所屬海軍大尉の重傷に陥り遂に同日午後一時尉島田誠氏は從來平町町上田逝去された。享年三十才同航空外科病院に僚友三浦特務中尉と隊所屬隊員中最も前途を囑望されてゐた人だけに急電に接し共に入院三浦中尉は退院原隊にされてゐただけに急電に接し歸還したが島田大尉は引續き同隊原隊に於てその死を惜しみ院で絶對安靜裡に加療中であつ同隊司令大西次郎少將は大尉の

野球大會 特別見物席

來る二十三日から三日間平町を中心として舉行される縣下中等學校野球大會協賛會では八百圓の豫算で選手招待をなす事となり寄附募集中の處大体豫定の寄附者には三日間特別の見物席を設ける等としてゐる上田病院で通夜今六日午前十時茶罷に附した上午後一席を希望の向きは平町新田自春時から九品寺に於いて遠藤心光松、菅本利雄、堀喜一の各氏に師導師となつて大西少將以下参列厳肅な告別式を執行した。

少佐に昇進

島田大尉
梅雨も開けていよいよ灼熱の夏は訪れようであるが、例年このシーズンには人々が暑さに心を奪はれて多かつたこと、二十八日のため比較的遺失物が多い。九日の曇天模様の日には共に八九件を算して驛員を面喰はせた。向こう二三日はカンカン帽の遺失も数年來の暑熱と稱されるだけ例年より断然激増で、さる六失が多い。

列車内の忘れ物 暑熱で断然増加

だが金目のものは少い
平驛の遺失物調べ

梅雨も開けていよいよ灼熱の夏は訪れようであるが、例年このシーズンには人々が暑さに心を奪はれて多かつたこと、二十八日のため比較的遺失物が多い。九日の曇天模様の日には共に八九件を算して驛員を面喰はせた。向こう二三日はカンカン帽の遺失も数年來の暑熱と稱されるだけ例年より断然激増で、さる六失が多い。

美人酌婦逃走

抱主から平署へ捜査願

宮城縣登米郡江村大字田沼東がみ勿來町では同海岸から勿來次郎長女倉田タミ(一八)はさるの關へかけ海水浴にキャンプに四月廿八日借三三圓で東京市山本共に通して過般海岸附近の景勝地ふじ方へ酌婦として抱えられた寫真を三越の「海と山」の展覽會が三日目で前借を踏み倒して逃及び京橋大通りの寫真陳列會へ走したので行衛捜査中警備村大出陳宣傳に努めてゐるが、ぼつ字上湯長谷佐藤某といふ男と文通した模様あり佐藤某は學生で實家は相當なものらしくタミは車業者、青年團、學校、停車場レニュー團のダンサー女給等の警察、町有志等が關内小學校に經歷あるした、か者で喰ひついで同宣傳方法及び客案内並にたものらしく夏休みで歸省した海岸清掃等について協議を重ねたから捜索して貰ひたいと五の外飲食、貸間の價格協定を圖ひてた。

平署組頭會

七日召集

平署では七日午前十一時から管内消防組頭會を召集消防協会の評議員二名を選挙するが從來平署管下から定員一名(平組頭井上茂作氏)であつたが過般の縣下組頭大會に於いて定員二名に増員されたもので井上平組頭に増員されたものと見られるが責任は確定的なものといはれるが増員一名の人は仲々問題らしく豊間組頭遠藤惣三郎、湯本組頭矢吹千代松氏等の呼聲あつても結局井上(平)、遠藤(豊間)兩組頭に落付くらしい。

落警統計

安全週間に

さる一日より一週間の第七回安全週間に際し常警各炭礦でもそれ、安全運動を催し趣旨の徹底を圖つてゐるが、これを機会に入山炭礦で調査した同社一昨年十二月十四日以降昨年十一月二日までの落警災害の状況は(時機)發破前四十五件、同後四十件、其の外十五件(作業別)出炭作業中四十六件、切羽元棒入中二十件、發破作中十件、其他七、冠炭浮石落し六件、後方棒入中五件、前行作業中四件、点検中六件(負傷別)微傷五回、輕傷三十七回、重傷六回、死亡三回で原因は不注意によるものが断然多く百件中三十八件を占め、不可抗力二十七件、その他三十五件である事が判明したので同報では既報の如くこの週間にお

避暑客誘引に 勿來町が大馬力

奇勝九面海岸を宣傳

今日午前十時頃ボツカリ平署に姿を見せた草野三郎縣議に新しいはきの半谷元老「内閣も出来た様だお祝ひにお茶菓子なんぞ送らないネ……」とやられ給仕を走らせて署前の久保田パン五十錢を大盤振舞ひ暑い事だが草野縣議の財布の中だけは冷たそうだった……と口の悪いT記者とM記者、そう言へばお互の墓口だつて北極みたいに何時も冷え切つてる癖に……

平町各商店 景品付大興行

平町各商店では來る七日、八日の二日間、互に聚樂館に於て明石劇團一行を招き慰安景品付大興行を行ふが、景品としては一等桐タンス上等一棹、二等置時計一ヶ等で前人氣頗る良好。

平館罷業 解決近し

映畫界異變

平町南町活動常設館平館(經營主松田卯次郎氏)は今春來營業不振に陥り經營難を傳へられてゐたが數日來幾分不穩の形勢にあつた同館従業員十四名は突如昨日同館主松田氏に對し未拂給料の即時支拂を要求遂に罷業を執行した爲め同館は遂に五日夜は休館の已むなきに至つた。尚松田氏は數日來八方金策に腐心して大體支拂の見込立つたと傳へられるから直ちに開館の運びに至るものと観測され平署特高課も万一を警戒してゐるが解決の見込ありとして重大視しない

閑話室

今日午前十時頃ボツカリ平署に姿を見せた草野三郎縣議に新しいはきの半谷元老「内閣も出来た様だお祝ひにお茶菓子なんぞ送らないネ……」とやられ給仕を走らせて署前の久保田パン五十錢を大盤振舞ひ暑い事だが草野縣議の財布の中だけは冷たそうだった……と口の悪いT記者とM記者、そう言へばお互の墓口だつて北極みたいに何時も冷え切つてる癖に……

暑中御伺申上候
 平町振地小路
 堀江工業株式會社
 江口忠一

流行ノ
 下駄ト草履ハ
 ドコリ安イ
 南町 三井ハキモノ店
 「小僧サン入用」

移轉案内
 新築中の診療所落成に付左記に移轉從前の通り眼科一般の診療を致します。
 昭和九年七月六日
 四倉本町新道通り(柏屋旅館裏)
 入院隨意 鈴木眼科分院

平町の株式店
 株式会社日報 営業案内御報進呈 御報參上
 平町本町三丁目 七十銀行隣
 大谷時計店側 電話七三番

公社債、株式現物賣買

東京株式取引所短期取引員

角治商店
 電話茅場66 (三三三) 三三三 三三五 三三六 三三七 三三八 三四一 三四三 三四四 三四五 三四六 三四七 三四八 三四九 三四〇 三四一 三四二 三四三 三四四 三四五 三四六 三四七 三四八 三四九 三四〇

東京市日本橋區兜町一ノ四電略(カヌハ)カクデ

蓄膿症 快鼻湯
 切ラズニ治ル
 本劑は幾多の藥劑あり、雖も他藥の及ばざる良藥であります。左右之病症の方は一時も早く服用され病苦を去られよ。
 蓄膿症、慢性急性性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり。
 其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞賛されて居ります。

磐城國平町一丁目
 家傳胃腸藥製造元 **水野藥局**
 責任製劑者 藥劑師 水野清一 (藥事相談部)
 電話六九九番

吸入用酸素 純度 99%
 度量 モノサシ
 マス ハカリ
 温度計
 体温器
 寒暖計

●寫眞 秤ノ取緒・錘系・修復致シマス
 材料一式
關内藥局
 電話四〇番

理想的強壯營養料
血肉トーゼ
 高級滋養劑で味甘く女子供も喜んでのめる。
 適 血少なく顔色悪き人、胸おどろき、心臓弱き人、大病又は産後の衰弱、過勞疲勞又は天性虛弱者、小兒の營養不良
 一圓 一圓五十錢 二圓
 特に病氣見舞には最的品
 特約店 **大平屋藥店**
 平町一丁目 電話六四二番

晴れても雨でもさせる
晴雨パラソル
 特色 このパラソルは完全に防水加工して御座いますので雨が降つて参りました時は雨傘と兼用となります。御年配向。流行色。各色取揃えしました
 新型子供ボーシ各種
ツルヤ 平四 電話一四〇番

コンボーク
塩豚
 平町田町
 三三三屋
 電話三三三番

毎度有難う御座います
 今年も相變らず始めましたから御涼みがてら何卒御立寄り下さい。御待ちして居ります。

アイスクリーム。アズキアイス
 ミルクゼリー。ソーダ水。ミツ豆
 此外にも色々とおめづらしい飲物
 おこのみ次第
 深山御座います



平三峯邊を通り
魚清食堂部
 電話六三三番

花柳病科 専門
 平町六丁目橋際
木村外科醫院
 電話三〇九番

科齒
 平町古鍛冶町九一
神谷齒科醫院
神谷辰夫